

事業所名		児童デイサービス ルピナス浜田				支援プログラム		作成日		6年	9月	24日
法人（事業所）理念		全ては児童とその家族の利益のために										
支援方針		1. 一人ひとりに合わせた療育を提供します。 2. 小集団の中で社会性を身につけます。 3. 将来を見据えた活動を行います。 4. 家族のサポーターとしての役割に努めます。										
営業時間		平日	9時	30分	18時	30分	送迎実施の有無	あり	なし			
		長期休み	8時	30分	17時	30分						
		支 援 内 容										
本 人 支 援	健康・生活	☆健康状態のチェックを行い、日常と異なる状態の時は必要な対応をします。また、意思表示の困難な障害特性や発達過程に考慮し心身の変化の観察をします。 ☆食事・排泄・整容等、日常生活で必要とされる日常生活スキルの習得に向けて、視覚情報の提示など個々の特性に合わせた支援を実践します。 ☆場面の切り替えが適切にできるよう支援します。 ☆楽しく食事ができるよう食育に努めるとともに、口腔内機能や感覚等に配慮しながら、咀嚼・嚥下の接触機能、姿勢保持、手指の運動機能の状態を確認し、必要な対応をします。										
	運動・感覚	☆日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上下肢の運動機能の維持を図るための活動を実践します。 ☆長時間利用の際には屋外活動を行い、心身の維持・改善に努めます。 ☆子どもの発達段階及び特性に配慮した視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用できるような遊びを実践します。										
	認知・行動	☆情報を取得し、そこから行動に繋げる一連の認知過程ができるよう、その特性に合わせた環境整備並びに関わり方に関する支援を実践します。 ☆待つ時間や余暇活動が充実するよう、その時間の過ごし方を共に考えて実践していきます。 ☆視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促すための制作活動や身体遊びを実践します。										
	言語 コミュニケーション	☆具体的な物や体験と言葉を結びつけ、言語の習得や自ら言葉にできるよう支援します。 ☆社会的に不適切とされる言動も、何らかの問題に対処している行動と捉え、丁寧に観察しつつ、適切な言動に修正できるよう支援します。 ☆発達段階に対応するコミュニケーション手段として、言葉だけではなく、ジェスチャーや指差し、身振り、絵カード等によりその児童に合った方法を実践します。										
	人間関係 社会性	☆「挨拶」「ルール」「マナー」「感謝」「謝罪」など社会生活で必要とされるソーシャルスキルの習得を実践していきます。 ☆身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤としながら周囲の人と安定した関係性を築けるよう支援します。										
家族支援		☆レスパイトや家庭の事情に対応するための支援 ☆子育てや障害等に関する情報提供他 ☆子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助					移行支援	☆家族と移行先への情報提供 ☆移行先との援助方針や支援内容、支援方法の供給と伝達 ☆移行先の選択についての相談援助				
地域支援・地域連携		☆担当者会議等への出席 ☆教育機関や関係機関との連携 ☆自立支援協議会への参加					職員の質の向上	☆外部研修の受講 ☆年間計画に基づいた内部研修 ☆資格取得への援助				
主な行事等		海水浴・公共交通機関を利用したの外出・宿泊体験・家族参加の秋祭り等										